

めあて

「新聞を読もう」を読んで、新聞の仕組みをまとめましょう。

- ① 「新聞を読もう」 p.32～37をゆっくりに読んで、()の中に言葉を書きましよう。

新聞の特長

・新聞は、() が、内容におうじてページ(面)ごとに編集されています。ページの中でも、読む人(社会)の関心が高いと思われる記事は大きく、反対に読む人の関心が低いと思われる記事は小さくしてあります。そのため、() で記事の重要度を知ることができます。新聞記事は、記者のほかにも、多くの人が関わって、内容が正確に伝わるように作られています。

新聞記事の構成

・新聞記事は、() を先に書くようにしています。特に、大きな記事では、() を「見出し」で表し、「リード(前文)」「本文」の順に、くわしく書かれています。このような構成を、「() の構成」ということがあります。

- ② 次の新聞に関する言葉の意味を書き込みましよう。

(トップ記事) ↓

(見出し) ↓

(リード) ↓

(本文) ↓

(写真・図・解説) ↓

めあて 情報を集めよう。

☆P.38をよく読みましょう。

☆情報は、新聞や本、インターネットなどで集めることができます。集めた情報と、その時に考えたことを「情報ノート」に整理しましょう。

集める情報の例

- ・生き物のこと
- ・かんきょう（寄稿災害など）のこと
- ・新しい技術について
- ・芸術や文化、スポーツについて
- ・言葉に関すること
- ・地域に関わること

① きょうみがあることや、

知りたい情報は何か。書いてみましょう。

新聞の記事を切り抜いたり、インターネットで調べた情報をプリントしたり、本に付箋ふせんをつけたりして情報を集めておきましょう。明日の国語の学習で「情報ノート」を書きます。

国語 「『情報ノート』を作ろう」 p.38～39 ワークシート② 五年 組・(名前)

めあて 使う情報を選び、「情報ノート」を作りましょう。

☆P.39をよく見て、参考にしながら情報ノートを書いてみましょう。

【資料や記事などをはる】 月 日 ()

出典】(選んだ資料は、どこから調べたのか)

【考えたこと】(情報から、自分が考えたこと)

めあて 学んだ漢字を使って、短文を書きましょう。

① p.42の赤い線の漢字に読み仮名をふりましょう。(教科書に書き込みましょう。)

② 読み仮名をふった漢字を六つ選び、短文を書きましょう。

| | |
|-----|----------------------|
| 【例】 | (短文にしてみました。) |
| 戦 | つな引きの対戦は、赤組が勝利をおさめた。 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

めあて 全文を読み、段落分けをしてみよう。

① p.44～45の「人とねずみの『はい、チーズ!』」も読みます。

| 言葉 | 事実 |
|----|----|
| | |

② 辞書を使って、次の二つの言葉の意味を調べましょう。

③ p.46～51の「言葉と事実」の全文を読み、左の内容を手がかりにして、六段落に分けてみましょう。

段落の分かれ目を見つけて、教科書に線を引いて分けてみましょう。

一段落 ・ 「うそつき少年の話」の事例①

二段落 ・ 問題提起の文

三段落 ・ 「リレーのたいこう戦を伝える新聞の見出し」の事例②

四段落 ・ 「デパートの札に書かれた言葉」の事例③

五段落 ・ 二段落の問題の答え

六段落 ・ 筆者の主張(言いたいこと)